東北学院大学

2024年度 東北学院大学大学院 修了時意識調査結果

学長室政策支援IR課

■ 調査期間：2024 年９月 30 日（月）（９月期修了生）
2025 年３月４日（火）～2025 年３月 26 日（水）（３月期修了生）

■ 調査対象：2024 年度大学院研究科博士課程前期・修士課程修了生 52 名、博士課程後期課程修了生５名、計 57 名

■ 調査方法：Google フォームによる Web 回答方式

■ 回 答 数：48 件（84%）※９月期修了者１名を含む

■ 調査設問（回答選択肢　４～５つ（１.⑥のみ「適切だった」を含む５つ））：

１．東北学院大学大学院で受けた授業をふりかえってみたとき、次についてどう思いますか。

①シラバスからは、各授業科目の目標、学習内容、成績評価方法などについて的確な情報を得ることができた。
（ほぼすべての科目にあてはまる⇔ほぼすべての科目にあてはまらない）

②授業は、学生の学習意欲を高める工夫がなされていた。（ほぼすべての授業にあてはまる⇔ほぼすべての授業にあてはまらない）

③単位認定や成績評価は、明確な基準・方法にもとづいて適切に行われていた。（ほぼすべての授業にあてはまる⇔ほぼすべての授業にあてはまらない）

④履修する科目を選択する際、必要に応じで教員や職員から説明・指導があった。（そう思う⇔まったくそうは思わない）

⑤授業以外でも、教員は、質問・相談に答えるなど学習上の支援をしてくれた。（そう思う⇔まったくそうは思わない）

⑥授業のレベルは総合的にみて適切でしたか。（高すぎて、ついていけないものが多かった⇔低すぎて、がっかりするものが多かった）

⑦大学礼拝などを通じて、キリスト教による人格教育を受けた。（そう思う⇔まったくそうは思わない）

⑧上記１.①～⑦の設問について、どのような点が特に「良かった」または「悪かった」と感じたか、自由に書いてください。記入の際は、①～⑦のどの設問に関しての意見か、番号を明記してください。（自由記述）

２．研究科・専攻での学びをふりかえってみたとき、次についてどう思いますか。

＜研究指導について＞

①学位論文（リサーチペーパー含む）その他の研究指導は適切に行われていた。（そう思う⇔まったくそうは思わない）

〈学位授与の方針に示す学修成果について〉

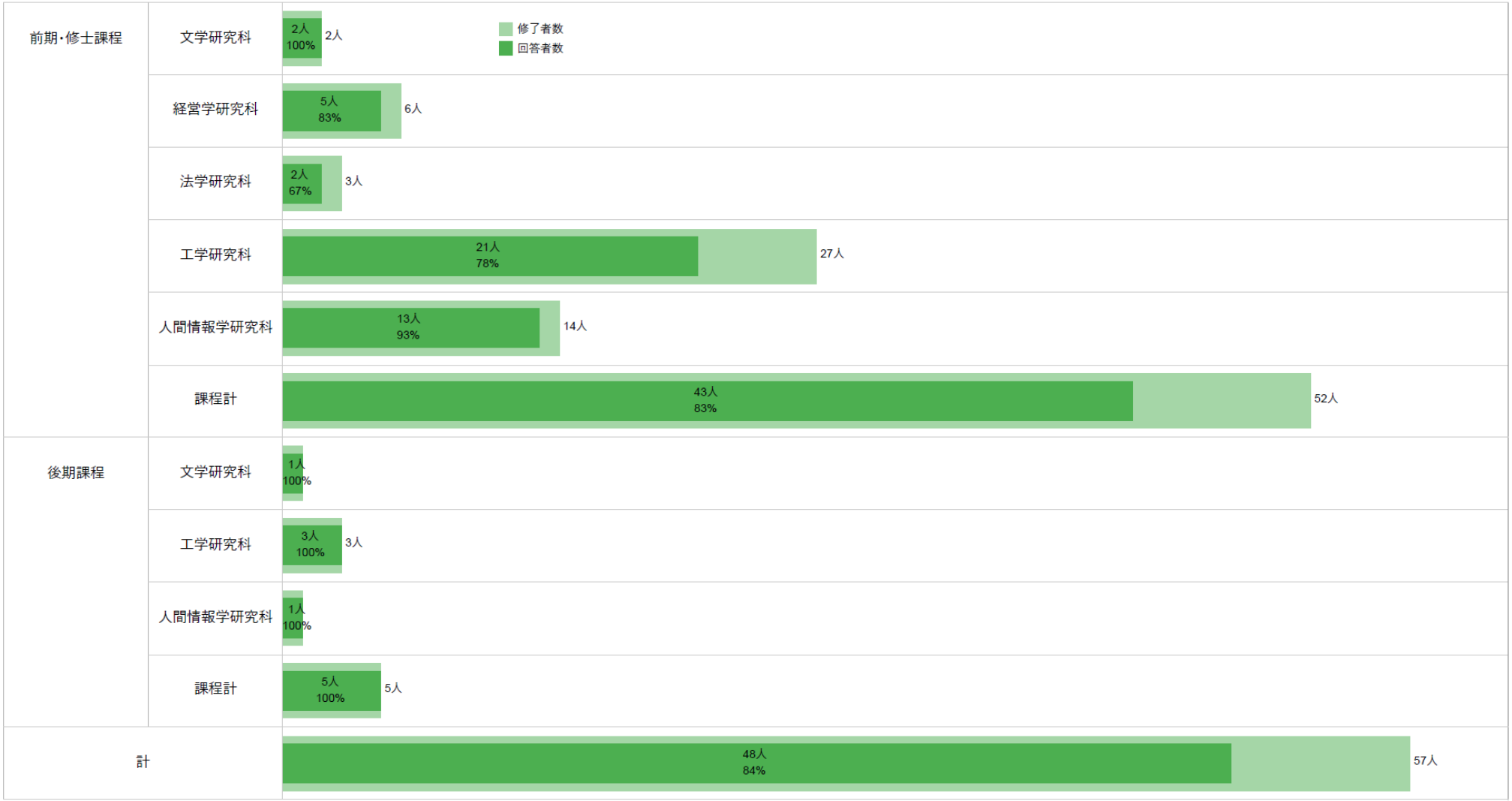
②～⑤　学位授与の方針に示す学修成果が身についた。（身についた⇔まったく身につかなかった、自由記述）

３．あなたは、総合的にみて、東北学院大学大学院で学んだことをどのように評価していますか。（ここで学んでとてもよかった⇔まったくよくなかった）

４．最後に、東北学院大学大学院で学んだことの感想、大学や研究科・専攻に改善してほしいことなど、自由に書いてください。（自由記述）

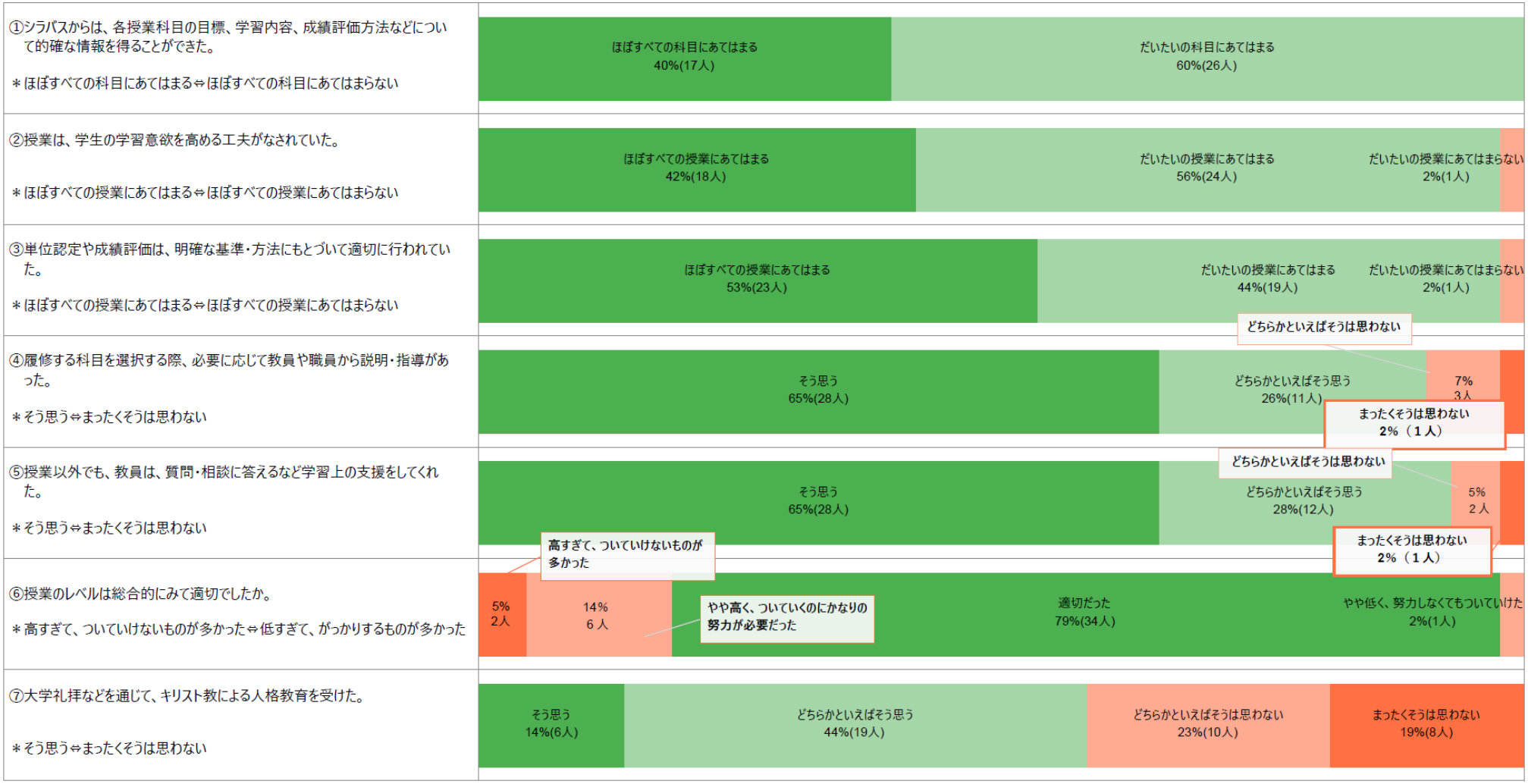
※自由記述は非公開です（　　部分）

2024年度修了時意識調査　回答率（経済学研究科の前期・後期課程、法学研究科の後期課程修了生はいなかった）

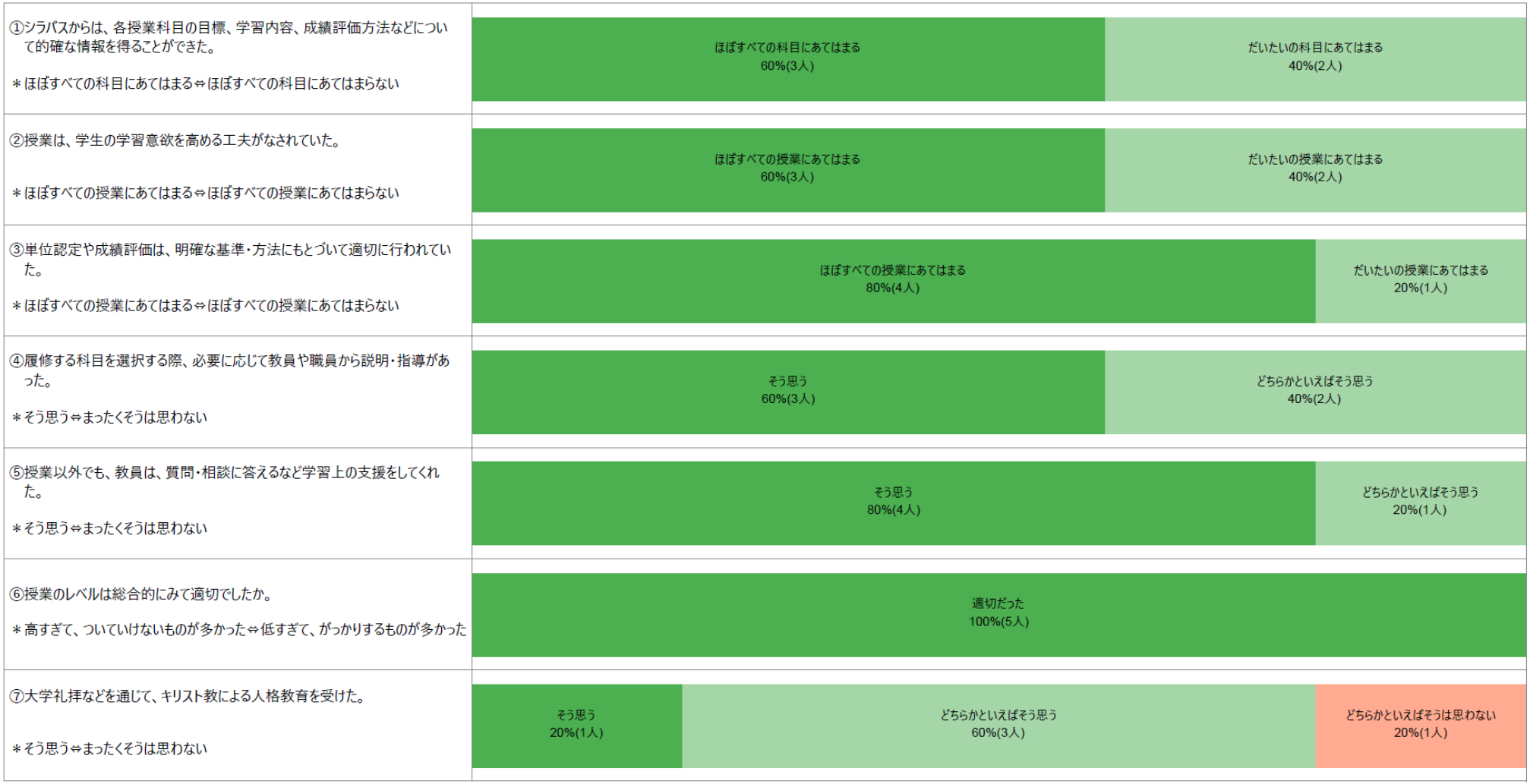


1.東北学院大学大学院で受けた授業をふりかえってみたとき、次についてどう思いますか。※回答選択肢４～５つ（⑥のみ「適切だった」を含む５つ）

【全研究科】前期・修士課程（43人）



1.東北学院大学大学院で受けた授業をふりかえってみたとき、次についてどう思いますか。※回答選択肢４～５つ（⑥のみ「適切だった」を含む５つ）
【全研究科】後期課程（５人）

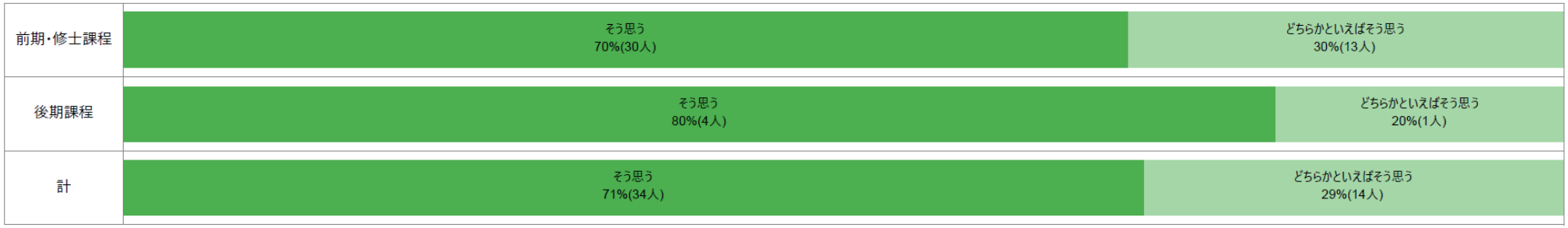


２．研究科・専攻での学びをふりかえってみたとき、次についてどう思いますか。※回答選択肢４つ

＜研究指導について＞

①学位論文（リサーチペーパー含む）その他の研究指導は適切に行われていた。

＊そう思う⇔まったくそうは思わない

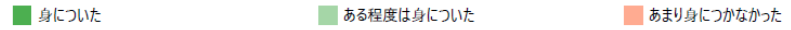


＜学位授与の方針に示す学修成果ついて＞＜前期・修士課程＞　※DP=ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

文学研究科	②	DP1	英語英文学、ヨーロッパ文化史またはアジア文化史に関する幅広い視野、基本的な知識及び思考力が身についた。 ＊身についた⇔まったく身につかなかった	身についた 100%(2人)
	③	DP2	英語英文学、ヨーロッパ文化史またはアジア文化史に関する研究課題について、専門的で学術的な価値のある知見が身についた。 ＊身についた⇔まったく身につかなかった	身についた 100%(2人)
	④	DP3	英語英文学、ヨーロッパ文化史またはアジア文化史に関する学術研究の遂行および成果の公表にむけて、研究者として必要な知識、技能、意識が身についた。 ＊身についた⇔まったく身につかなかった	身についた 100%(2人)
経営学研究科	②	DP1	経営学に関する幅広い視野、基本的な知識及び思考力が身についた。 ＊身についた⇔まったく身につかなかった	身についた 100%(5人)
	③	DP2	経営学に関する研究課題について、専門的で学術的な価値のある知見が身についた。 ＊身についた⇔まったく身につかなかった	身についた 100%(5人)
	④	DP3	経営学に関する学術研究の遂行及び成果の公表にむけて、研究者として必要な知識、技能、意識が身についた。 ＊身についた⇔まったく身につかなかった	身についた 100%(5人)

2．研究科・専攻での学びをふりかえってみたとき、次についてどう思いますか。※回答選択肢４つ

＜学位授与の方針に示す学修成果ついて＞＜前期・修士課程＞　※DP=ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）



法学研究科	②	DP1	法学または政治学に関する幅広い視野、基本的な知識および思考力が身についた。 ＊身についた⇔まったく身につかなかった	身についた 50%(1人) ある程度は身についた 50%(1人)
	③	DP2	法学または政治学に関するいくつかの特定テーマについて専門的な知識が身についた。 ＊身についた⇔まったく身につかなかった	身についた 50%(1人) ある程度は身についた 50%(1人)
	④	DP3	法学または政治学に関する研究課題について、専門的で学術的な価値のある知見が身についた。 ＊身についた⇔まったく身につかなかった	身についた 50%(1人) ある程度は身についた 50%(1人)
	⑤	DP4	法学または政治学に関する学術研究の遂行および成果の公表にむけて、研究者として必要な知識、技能、意識が身についた。 ＊身についた⇔まったく身につかなかった	身についた 50%(1人) ある程度は身についた 50%(1人)
工学研究科	②	DP1	工学に関する幅広い視野、基本的な知識及び思考力が身についた。 ＊身についた⇔まったく身につかなかった	身についた 67%(14人) ある程度は身についた 33%(7人)
	③	DP2	工学に関するいくつかの特定テーマについて専門的な知識が身についた。 ＊身についた⇔まったく身につかなかった	身についた 76%(16人) ある程度は身についた 19%(4人) 5% 1人
	④	DP3	工学に関する研究課題について、専門的で学術的な価値のある知見が身についた。 ＊身についた⇔まったく身につかなかった	身についた 71%(15人) ある程度は身についた 29%(6人)
	⑤	DP4	工学に関する学術研究の遂行及び成果の公表にむけて、研究者として必要な知識、技能、意識が身についた。 ＊身についた⇔まったく身につかなかった	身についた 62%(13人) ある程度は身についた 33%(7人) 5% 1人
人間情報学研究科	②	DP1	人間情報学にかかわる専門的知識が身についた。 ＊身についた⇔まったく身につかなかった	身についた 31%(4人) ある程度は身についた 69%(9人)
	③	DP2	学術的および実社会の問題を学際的視野から捉える態度・能力が身についた。 ＊身についた⇔まったく身につかなかった	身についた 31%(4人) ある程度は身についた 69%(9人)
	④	DP3	学術的および実社会の問題の解決に貢献できる研究能力が身についた。 ＊身についた⇔まったく身につかなかった	身についた 23%(3人) ある程度は身についた 69%(9人) あまり身につかなかった 8%(1人)

2．研究科・専攻での学びをふりかえってみたとき、次についてどう思いますか。※回答選択肢４つ

＜学位授与の方針に示す学修成果ついて＞＜後期課程＞　※回答者１名の文学研究科後期課程および人間情報学研究科後期課程は開示しない。

工学研究科	②	DP1	工学に関する幅広い視野、専門的な知識及び思考力が身についた。 ＊身についた⇔まったく身につかなかった	身についた 67%(2人) ある程度は身についた 33%(1人)
	③	DP2	工学に関する研究課題について、高度に専門的で、学術的な価値の高い知見が身についた。 ＊身についた⇔まったく身につかなかった	身についた 67%(2人) ある程度は身についた 33%(1人)
	④	DP3	工学に関する学術研究の継続的遂行及び成果の公表にむけて、自立した研究者として必要な知識、技能、意識が身についた。 ＊身についた⇔まったく身につかなかった	身についた 67%(2人) ある程度は身についた 33%(1人)

3．あなたは、総合的にみて、東北学院大学大学院で学んだことをどのように評価していますか。※回答選択肢４つ

＊ここで学んでとてもよかった⇔まったくよくなかった

前期・修士課程	ここで学んでとてもよかった 70%(30人)	どちらかといえばよかった 30%(13人)
後期課程	ここで学んでとてもよかった 60%(3人)	どちらかといえばよかった 40%(2人)
計	ここで学んでとてもよかった 69%(33人)	どちらかといえばよかった 31%(15人)